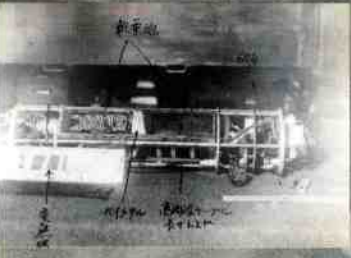


企画展示

# 原爆と呉



**期間**  
平成17年  
8月5日(金)～8月31日(水)

**場所**  
大和ミュージアム 1階 大和ホール

**料金**  
一般(大学生以上) ..... 300円 (700円)  
高校生 ..... 200円 (400円)  
小・中学生 ..... 100円 (200円)  
※( )内は常設展示とのセット料金

**開館時間**  
開館時間: 午前9時～午後7時  
会期中無休

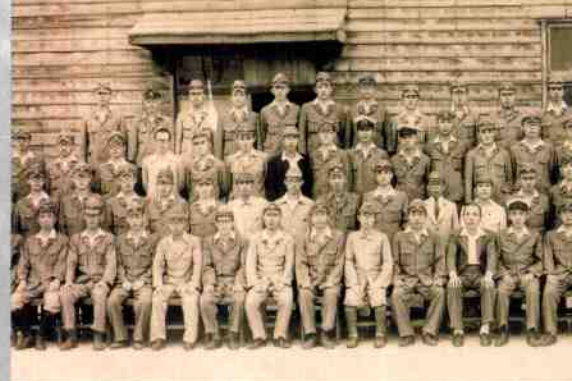
**アクセス**

**電車・バスでお越しの場合**  
JR呉駅から徒歩5分  
または  
呉市営バス宝町中央循環線  
「ゆめタウン・大和ミュージアム前」  
下車徒歩1分

**お車でお越しの場合**  
クレアライン呉ICから約5分  
西条ICから約1時間

**フェリーでお越しの場合**  
呉中央桟橋から徒歩1分  
駐車場: 乗用車65台 (有料)

**お問い合わせ**  
〒737-0029 広島県呉市宝町 5-20  
TEL 0823-25-3017  
ホームページ <http://yamato.kure-city.jp/>



 **大和ミュージアム**  
呉市海事歴史科学館

呉(吉浦)で撮影された原爆のきのこ雲

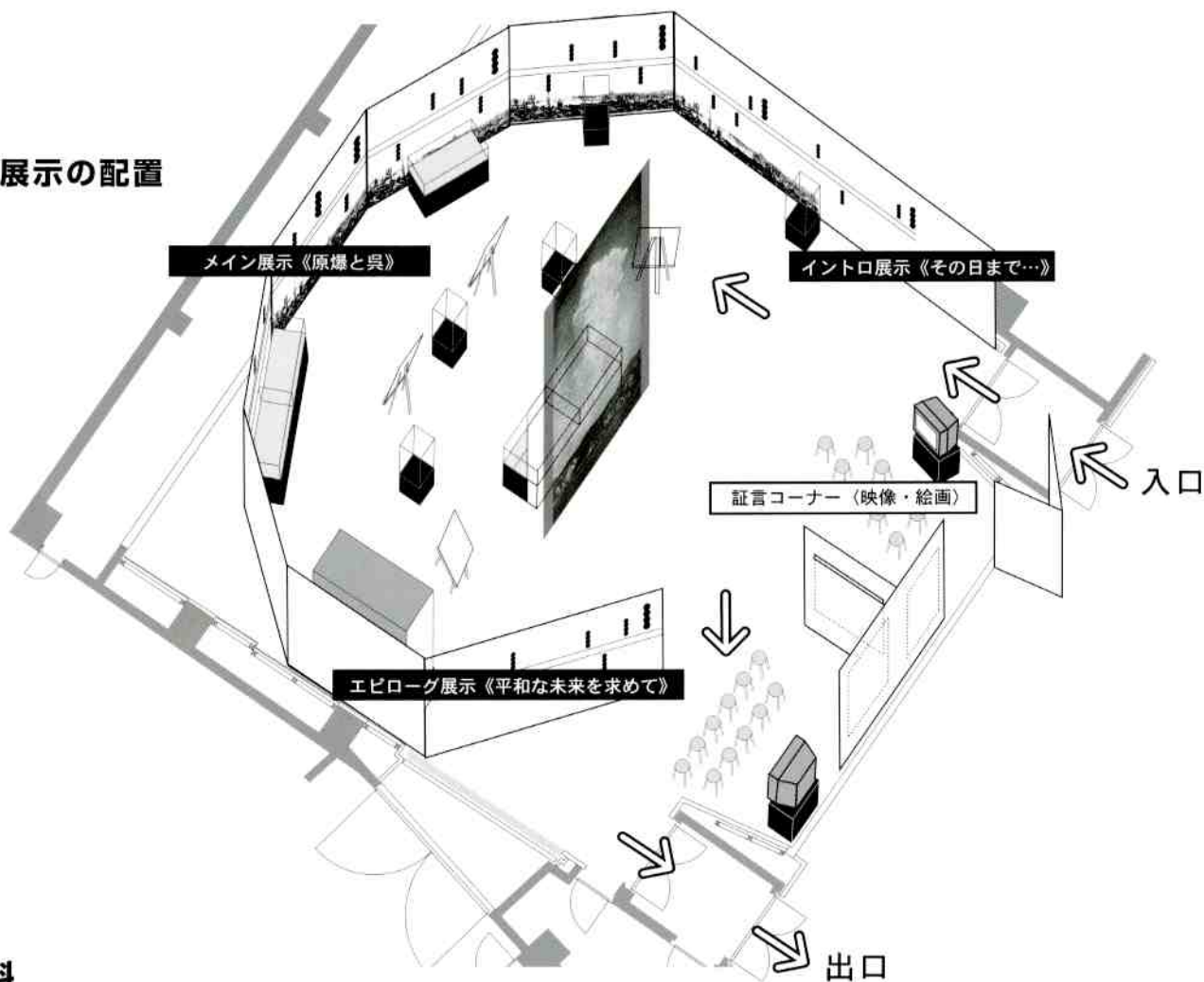
## 「原爆と呉」

## 開催にあたって

呉市海事歴史科学館館長  
戸高一成

太平洋戦争終結直前の昭和20(1945)年8月6日午前8時15分。広島に、世界初の原子爆弾が投下されました。呉市は広島市に隣接していたため、投下直後から、軍民をあげて救援・救護にあたり、呉鎮守府調査団も派遣しました。当時の呉海軍工廠の科学者たちによる分析で、この爆弾が原子爆弾であることも、いち早く報告書として提出しています。しかし、原爆投下直後から救援・救護活動や調査活動に携わった人々は、残留放射線による二次被爆の被害にあい、呉市の被爆者の数は、全国でも第4番目となっています。原爆投下から60周年を迎える今年、原爆とその被害を、呉の人々の活動や呉からの視点でご覧いただき、戦争がもたらした悲惨な現実を知ること、平和な未来を築くための糧にしていきたいと思います。

## 展示の配置



## 主な展示資料

- 01 「八月六日爆煙状況」(郷原より灰ヶ峰北方山地を経て広島を望む)  
(井上自助画)[北川資料]
- 02 目撃図「第一図 天応海岸ヨリノ見取図 閃光後約二秒」[北川資料]
- 03 目撃図「第二図 天応海岸ヨリノ見取図 約五分後」[北川資料]
- 04 目撃図「第三図 天応海岸ヨリノ見取図 約十分後」[北川資料]
- 05 「呉鎮機密第三九六号 八月六日広島空襲被害状況調査報告概要」  
(呉鎮守府)[神津資料]
- 06 「広島市爆撃二関スル報告」(広島文理大)[神津資料]
- 07 「広島西練兵場土壌β線放射能測定成績」[神津資料]
- 08 「原子爆弾の輻射線によって焦げた木の枝・葉」  
(昭和20年8月8日採取)[北川資料]\*本資料は写真展示のみです。
- 09 「原子爆弾の輻射線によって焦げた木の枝・葉」  
(昭和20年8月8日採取)[北川資料]\*本資料は写真展示のみです。
- 10 8月15日付「新爆弾ハ原子核爆弾ト判決ス」至急電報 [北川資料]
- 11 京都帝大荒勝研究室調査隊による調査結果概要 [北川資料]
- 12 「広島市ニ於ケル原子爆弾ニ関スル調査(一般的調査)」  
(2号資料)英文(米軍提出用)[神津資料]
- 13 広島へ救助に入った呉地区二三特別陸戦隊迫撃砲中隊隊員名簿